

荻伏から世界を見つめて「馬にかかわる産業」

～ステップチャートの活用によるプログラミング的思考の育成～

この授業では、総合的な学習の時間の第4学年の主テーマである「馬にかかわる産業」について、調べ、まとめ、発表する学習を進める中で、伝えたい事柄について適切な内容を順序立てて考える力を育てます。聞き手に分かりやすく伝えられるよう、「ステップチャート」で自分の考えを可視化し、発表の内容や組立てを改善する活動を通して、児童のプログラミング的思考を育みます。

導入

◆本時の課題をつかむ

- ・前時までの活動を振り返り、本時の学習の見通しをもつ。

意見を交流して、さらにより発表をめざそう

- ・意見を交流した後、発表項目を修正することについて、確認する。

展開1

◆「ステップチャート」を基に発表物を作成する

整理した発表物を使って発表し、聞き手の反応を確認したり、他のグループの意見を聞いたりするための準備をする。

(児童の反応)

- ・「カードを入れ替えた方が分かりやすいかな」
- ・「カードを増やして、説明をもっと詳しくした方がいいな」

展開2

◆発表し合い、他のグループの発表にも意見をもつ

他のグループの発表を聞いて思ったことや、他のグループからの指摘を生かし、自分たちの発表をどのような内容や順番で行うか、再度、考える。

(児童の反応)

- ・「説明の時間も順番もよくまとまっていて分かりやすい」
- ・「テーマにしている内容の説明が足りないな」

まとめ

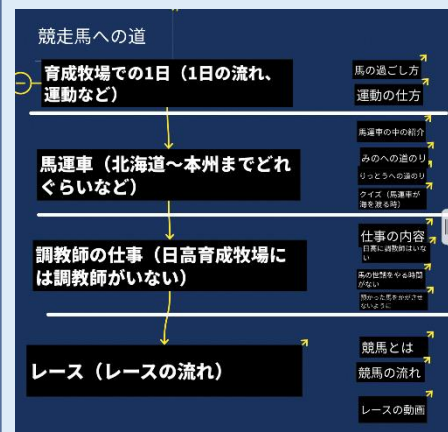
◆構成した発表物の再検討を行う

- ・自分たちが感じたことや他のグループの意見を取り入れ、自分たちのグループの発表物を改善する。
- ・ステップチャートで改善したところを確認する。

授業の様子・留意点

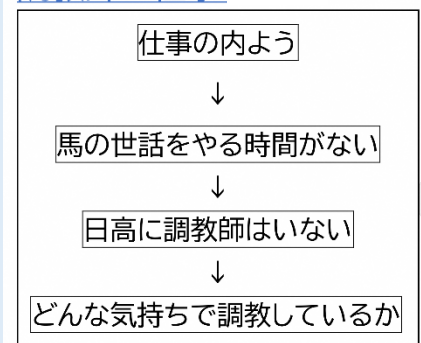


【ロイロノートで発表物のカードを作成】



【あるグループの大テーマ内項目の構成】

調教師の仕事



【ある児童の中テーマ内項目の構成】